

ふうしゃだより

WINDMILL LETTER

2022.
6月号

皆様こんにちは。日本風力エネルギー（株）です。

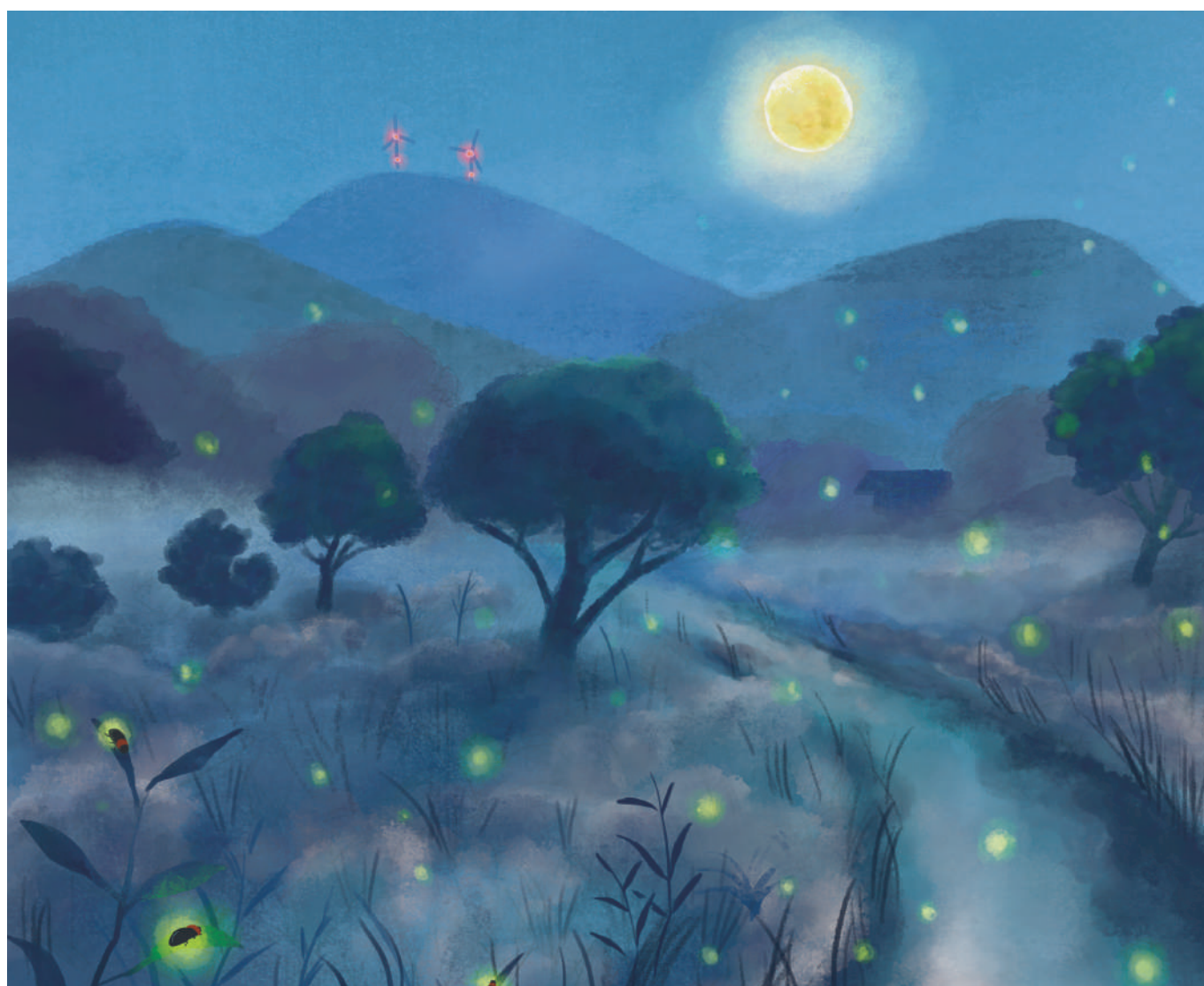
皆様こんにちは。日本風力エネルギー（株）です。夏の日差しを感じるかと思えば梅雨冷えるなど、安定しないお天気が続いています。水分補給や体温調整に気をつけて、気持ちのよい夏をお迎えくださいね。

さて、今月号ではヴィーナ・エナジーの次世代教育への取り組みや風力発電の特徴、そして公立鳥取環境大学・根本昌彦教授へのインタビューなどをお送りします。



注目CONTENTS

- ・鳥取環境大学環境学部 根本 昌彦先生インタビュー
「森林資源を守るための“道”の大切さ」
- ・日本風力エネルギー 次世代育成活動の紹介 ・風力発電の特徴



弊社が計画しております「(仮称)鳥取風力発電事業」は計画段階であり、風車の位置などは地域住民や専門家のご意見を頂きながら、進めてまいります。説明会や話し合いの機会を頂戴できますと幸いです。環境影響評価方法書への知事意見として、「住民等一人一人にきちんと情報が届くように丁寧に説明をおこなうこと」が求められました。「ふうしゃだより」が情報提供の一端を担えるよう尽力してまいります。

お問い合わせ

日本風力エネルギー株式会社 鳥取事業所（鳥取風力合同会社）

〒680-0404 鳥取県八頭郡八頭町見槻中154-2 準LAB 2-A
TEL. 0858-76-0700 FAX. 0858-76-0701



(仮称) 鳥取風力発電事業 専用サイト：<https://project.venaenergy.co.jp/tottori/>

エネルギーニュース



同じ再エネでも、特長はさまざま

風力発電のメリットとは？



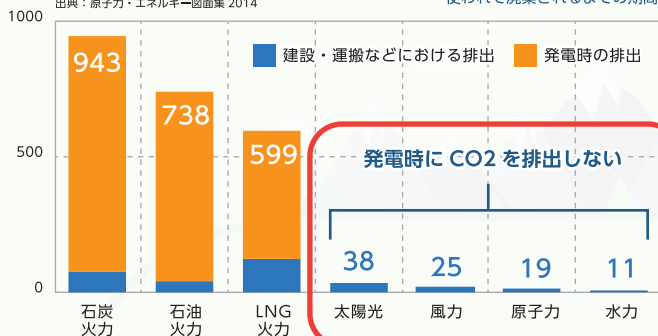
日本では多彩な発電方法が採用されています。改めて、風力発電の特長についてご紹介します。

電源別のライフサイクル CO2 排出量

ライフサイクル

風車が作られ輸送建設され、使われて廃棄されるまでの期間

出典：原子力・エネルギー図面集 2014



風力発電の特長

資源は無量大

資源、発電材料が枯渇する心配がありません。

CO2 排出量が少ない

石炭火力発電等と比べて発電時のCO2排出が圧倒的に少なく建設や輸送時のCO2排出 (25 g CO2/ kWh)。実は太陽光発電よりも、さらに排出量が少ないのです。

変換効率が比較的高い

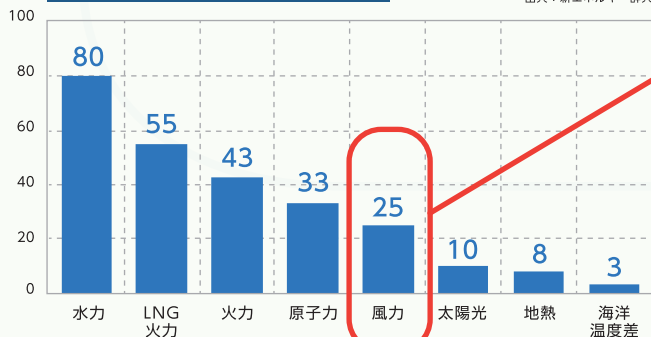
風力発電のエネルギー変換効率は、再エネの中で最も高く、効率の良い電源と言えます。

夜間も発電できる純国産エネルギー

風力発電は輸入に頼ることなく発電できる純国産エネルギー。しかも昼夜を問わず24時間発電することも可能です。

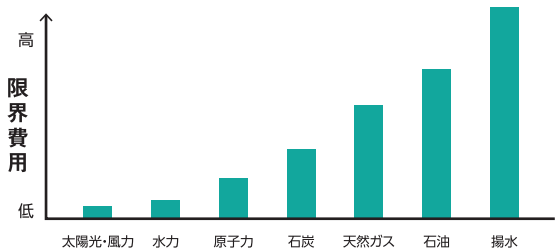
発電方式別のエネルギー変換効率

出典：新エネルギー辞典



コラム

「再エネは“限界費用”ゼロ」ってどういう意味？



出典：経済産業省エネルギー資源庁

「限界費用」とは、電力を新たに作り出すときに必要な費用（固定費を除く）のことで、自然の恵みである風を活用する風力発電は、「限界費用」がほぼゼロとなります。輸入にほとんどを頼っている石炭、石油価格が高騰する中、風力発電は、「国産エネルギー」の確保に貢献ができ、さらには、ライフサイクルにおけるCO2排出量が少ない発電源と言えます。

今月の

風車ニュース



次世代育成への取り組み

日本風力エネルギー/
ウィーナ・エナジーグループの
社会貢献活動

地元を誇りに
思う声が続々

青森県七戸町の 中学校で出張授業

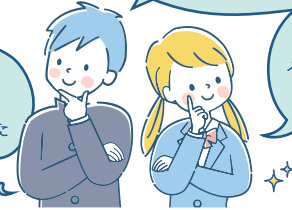
青森県七戸町では、教育委員会と連携し、町内4校の中学校で再生可能エネルギーについて学ぶ出張授業、「ソーラースクール」を実施しました。来たる7月にも、ソーラースクールの実施を予定しています。

七戸町がこんなに
発電していることを
知りませんでした

自分が住んでいる町で、
再エネが作られている
のがすごい

七戸町は再エネ
産生に前向きで、
良い町だと思った

七戸にこんな
ハイテクなもの
があるなんて



理工学系教育と
男女共同参画を推進

東京大学工学部に 「ウィーナ・エナジー奨学金」 を創設

次世代リーダーの育成に貢献すべく、東京大学工学部に在籍する3年生2名を対象に2年間支給する奨学金を創設しました。石坂香子教授は「工学分野のジェンダー平等実現に向けた強い追い風となることを期待しています」と述べています。



「全国高校駅伝大会」の
出場支援

長崎県立松浦高等学校 陸上競技部に寄付

昨年12月に京都市で開催された「全国高校駅伝大会」へ長崎県代表として出場した長崎県立松浦高等学校陸上競技部へ、大会遠征にむけた寄付を行いました。雪が舞い手足が痺れる寒さの中で奮闘を見せ、同部は29位でゴールを果たしました。



地元スポーツチームと
ともに子どもを笑顔に

鳥取ブルーバース& ベガルタ仙台との イベント開催

昨年は、鳥取県初のプロ3人制バスケットボールチーム「鳥取ブルーバース」と、宮城県ではプロサッカーチーム「ベガルタ仙台」とそれぞれ地元の子どもたちを迎えたスポーツイベントを実施しました。



話題のインタビュー

\ interview theme /

森林資源を守るためには “道”が不可欠

森林維持には人の手をかけることも大切と語る根本先生に、若葉台の里山と山道の重要性についてお話を伺いました。

今回のインタビュー



公立鳥取環境大学
環境学部副学部長

根本 昌彦先生

森林保全と木材活用の理想的な循環による「森林管理」を研究されています。



Q

先生は大学付近でフィールドワークもなさっていますが、近隣の環境について教えてください。

A

若葉台は30数年前に県や市が主導して宅地開発された丘陵地で、1,500戸以上の住民や学校、テクノセンターなどが整備されています。藪化している状況を見かねて、最初は私一人で開墾しはじめたのですが、そのうち、私が教える学生や地元のまちづくり組織の方も参加してもらえるようになり、一緒に遊歩道整備を進めました。

Q

遊歩道は現在どのように使われていますか？

A

完成した6~7kmの遊歩道は「鳥取市若葉台里山ウォーキングコース」として大学授業で使われるほか、地元の方の散歩道として親しまれています。分岐を境に右側は天然林、左側は人工林が広がっているところもあり、それぞれの特性が見られて楽しいですよ。ただ、この5年ほどでシカが激増し、イノシシやクマは宅地にも出てくるようになっているのが問題視されています。

Q

なぜシカやイノシシなどが増えると問題なのでしょう？

A

シカなどが増えると下草がすべて食べ尽くされ、土壌浸食の不安が出てきますし、マダニ被害も心配されています。

日本は戦後の植林事業で広がった森林が多く、「人手」をかけないと逆に荒廃し、山村が疲弊してしまうという特性があります。植林された杉や檜の手入れや、それを木材として活用するインフラ整備が急務ですが、その第一歩として山道整備は重要です。

また、道を整備することでエコツーリズムをはじめ、新しい森林空間の活用にも繋がります。人が楽しむことで良いサイクルが回るような「仕組み」ができるといいですね。

